

清家塾長再選、第二期目を迎える

慶應義塾長の任期満了に伴う改選の結果、去る4月26日に開催された臨時評議員会において、2009年から現職にある清家篤塾長が再選されました。二期目となる任期は、本年5月28日から2017年5月27日までの4年間となります。



塾長
せいけ あつし
清家 篤

1954年生まれ。1978年慶應義塾大学経済学部卒業、1983年大学院商学研究科博士課程単位取得退学。1980年慶應義塾大学商学部助手、1992年教授。2007年から2009年まで商学部長・大学院商学研究科委員長、2009年から慶應義塾長。学外ではこれまで、労働政策審議会委員・同雇用保険部会長・同若年労働者部会長（厚生労働省）、社会保障国民会議委員・同第一分科会（年金・雇用）座長（内閣官房）、高齢社会対策の基本的在り方等に関する検討会座長（内閣府）、今後の高齢者雇用に関する研究会座長（厚生労働省）、社会保障改革に関する集中検討会議幹事委員（内閣官房）、東日本大震災復興構想会議委員（内閣官房）などを歴任。

現在、日本私立大学連盟会長、全私学連合代表、社会保障制度改革国民会議会長（内閣官房）、経済社会総合研究所名誉所長（内閣府）、Global University Leaders Forum（World Economic Forum）メンバー、Global Agenda Council on Ageing（World Economic Forum）メンバーなどを兼務。

専門は労働経済学。博士（商学）。

激動の時代に求められる公智と実学

物事の軽重大小を見きわめ、重いもの、大きいものを先に、軽いもの、小さいものを後にする判断力を、福澤先生は「公智」と言われました。先生はこれを、聡明の大きとも言うべきもので、人の身につけるべき最も重要な知力であるとしています。新しい状況がつきつきと出てくる変化の時代、そして異質のものと出会うことの多い多様性の拡大する時代には、ますます大切になるのです。

その判断の基礎となるのが、福澤先生の言われた「実学」です。先生がこれに自ら「サイヤンス」とルビを振っておられるように、実学とは科学を意味します。つまり、

具体的な問題を特定し、その問題を説明しうる論理を考え、その論理が正しいかどうかを客観的に確かめて結論を得るということです。これが学問の基本作法です。

福澤先生の生きた明治維新前後には、封建社会から近代社会へと政治体制が激変し、また開国によって一気に多様な外国文化や技術が入ってきました。そうした現代にも増して大きな激動の時代を生きた先生が、学問というものをあれほど強調されたのは当然でした。上野の山で彰義隊と官軍が戦をしていたときにも、いつものとおりウェーランドの経済書を講義したのも、激動の時であるからこそ学問が重要だと考え

られたからです。

私たちはいま、福澤先生の時代とはまったく別の形ではありますが、大きな変化と多様化の時代を生きています。福澤先生の伝統を受け継ぎ、慶應義塾に学ぶ塾生には、幅広くかつ奥深く学問をすること、実学によって公智を働かせる力をつかりと養ってもらいます。また、学問を深め新たな研究成果を生み出すことで、人類に新たな叡智をもたらし、そしてさらに、学問に基づく医療等の実践の質を高めることによって、社会に貢献していきたいと考えています。



くくりょう じろう
國領 二郎

国際(主管)、IT(共管)、教育(共管)、研究(共管)、
一貫教育校(共管)、湘南藤沢キャンパス(主管)

1959年生まれ。1982年東京大学経済学部卒業。
1982年日本電信電話公社勤務。1992年ハーバード大学経営学博士。1993年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、2000年教授、2003年環境情報学部教授、2006年総合政策学部教授。2009年総合政策学部長、2013年慶應義塾常任理事。専門は経営情報システム。経営学博士。

※就任日 7月4日



わたなべ なおき
渡部 直樹

施設・管理(主管)、塾員(主管)、
体育会、環境、社会・地域連携

1949年生まれ。1972年慶應義塾大学商学部卒業、
1977年大学院商学研究科博士課程単位取得退学。
1975年慶應義塾大学商学部助手、1992年教授。
2005年大学学生総合センター副センター長兼就
職部長、2009年慶應義塾常任理事。専門は組織
の経済学、社会科学方法論。



はせやま あきら
長谷山 彰

教育(主管)、研究(共管)、学生(共管)、一貫教育校(主管)、
施設・管理(共管)、三田・日吉キャンパス

1952年生まれ。1975年慶應義塾大学法学部卒業、
1979年文学部卒業、1984年大学院文学研究科博
士課程単位取得退学。駿河台大学法学部教授を經
て1997年慶應義塾大学文学部教授。2001年学
生総合センター長兼学生部長、2007年文学部長、
大学附属研究所斯道文庫長、2009年慶應義塾常
任理事。専門は日本法制史。法学博士。



まし の ただひこ
増野 匡彦

創立150年記念事業、教育(共管)、研究(共管)、
点検・評価、病院経営改革(共管)、芝共立キャンパス

1955年生まれ。1979年東京大学薬学部卒業、
1983年大学院薬学系研究科博士課程退学。東京大
学薬学部助手、共立薬科大学教授を経て2008年
法人合併により慶應義塾大学薬学部教授。2009年
薬学部長・大学院薬学研究科委員長、2013年慶應
義塾常任理事。専門は生物有機化学。薬学博士。

※就任日 7月1日



とやま よしあき
戸山 芳昭

病院、病院経営改革(主管)、教育(共管)、研究(共管)、
信濃町キャンパス、湘南藤沢キャンパス(共管)

1950年生まれ。1975年慶應義塾大学医学部卒業。
1991年慶應義塾大学医学部助手、1998年教授(整
形外科学)。2005年慶應義塾大学病院 副病院長、
2007年病院長、2009年慶應義塾常任理事。専門
は脊椎・脊髄外科、神経科学、運動器再生医学。
医学博士。



まかべ としあき
真壁 利明

研究(主管)、産学連携、IT(主管)、
教育(共管)、国際(共管)、矢上キャンパス

1947年生まれ。1970年慶應義塾大学工学部卒業、
1975年大学院工学研究科博士課程単位取得退学。
1975年慶應義塾大学工学部助手、1991年理工学
部教授。2007年理工学部長・大学院理工学研究
科委員長、2009年慶應義塾常任理事、2013年大
学名誉教授。専門はプラズマエレクトロニクス。
工学博士。



いわなみ あつこ
岩波 敦子

人事・労務、学生(主管)、
個人情報保護、男女共同参画

1962年生まれ。1985年慶應義塾大学文学部卒業、
1990年大学院文学研究科博士課程単位取得退学。
1996年慶應義塾大学理工学部専任講師、2008年
教授。2004年教養研究センター副所長、2010年
言語文化研究所所長、2013年慶應義塾常任理事。
専門は中世ヨーロッパ史。哲学博士。



こまむら けいご
駒村 圭吾

総務・法務、広報、調達、企画、危機管理、
教育(共管)、研究(共管)、塾員(共管)

1960年生まれ。1984年慶應義塾大学法学部卒業、
1989年大学院法学研究科博士課程単位取得退学。
白鷗大学法学部教授を経て2003年慶應義塾大学
法学部助教授、2005年法学部・大学院法務研究
科教授。2012年慶應義塾高等学校長、2013年慶
應義塾常任理事。専門は憲法学。博士(法学)。

※就任日 7月16日



しみず まさひこ
清水 雅彦

財務・経理、募金、
病院経営改革(共管)

1944年生まれ。1968年慶應義塾大学経済学部卒業、
1973年大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。
1974年慶應義塾大学経済学部助手、1988年教授。
1997年産業研究所所長、1999年経済学部長・大
学院経済学研究科委員長、2001年慶應義塾常任理事、
2005年産業研究所所長、2009年大学名誉教授、慶
應義塾常任理事。専門は産業構造分析、産業技術論。